

香美市 熱中症対策健康会議

香美市において官民一丸となり、熱中症対策に注力を行い、
熱中症患者の減少に努める

香美市 熱中症対策健康会議 アジェンダ

日時：令和7年5月26日（月）14時00分～15時30分 場所：香美市本庁舎 3F会議室

【導入部】

- 依光晃一郎 市長 挨拶
- 大塚製薬株式会社 挨拶（大塚製薬株式会社 徳島支店 支店長 細川賢）
- 各参画団体様のご紹介（司会よりご案内）
- 環境省 小川総括 挨拶
- 独立行政法人環境再生保全機構「熱中症対策の先進的な取組事例紹介」（佐古課長）
- 香美市の熱中症搬送者状況と全体の方針について（大塚製薬株式会社 高知出張所 横瀬善行）

【各団体様の具体的連携活動について】

香美市健康推進課	「香美市の熱中症予防の取組」
香美市消防本部	「職場での熱中症予防について」
香美市教育委員会	「教育現場での児童生徒に対する熱中症予防対策」
とさでん交通株式会社	「バス・電車等での熱中症予防啓発活動」
株式会社高知放送	「RKCラジオによる熱中症に関する情報周知」
高知県土佐刃物連合協同組合	「鍛冶職人・研修生への熱中症に関する情報周知」
株式会社土佐山田ショッピングセンター	「スーパーマーケットだから出来る熱中症に関する啓発活動」
株式会社フタガミ	「ホームセンターから～熱中症対策の情報発信と対策提案～」
株式会社西日本セイムス	「地域の熱中症予防に関する啓蒙活動-ドラッグセイムスだからできる熱中症対策」

香美市 熱中症対策健康会議 アジェンダ

日時：令和7年5月26日（月）14時00分～15時30分 場所：香美市本庁舎 3F会議室

大塚製薬株式会社 横瀬善行「各団体様取り組みまとめ」

【総括】大塚製薬株式会社 支店長 細川賢

【閉会】

【写真撮影】

【メディア取材】

香美市での熱中症対策活動プラン

高知県/香美市

熱中症搬送状況について

2024年メディアを通じた熱中症対策の発信

県内移動スーパー とくし丸の取組



よさこい祭期間にて 高知城ライトアップ



よさこい祭振興会様 代表者説明会

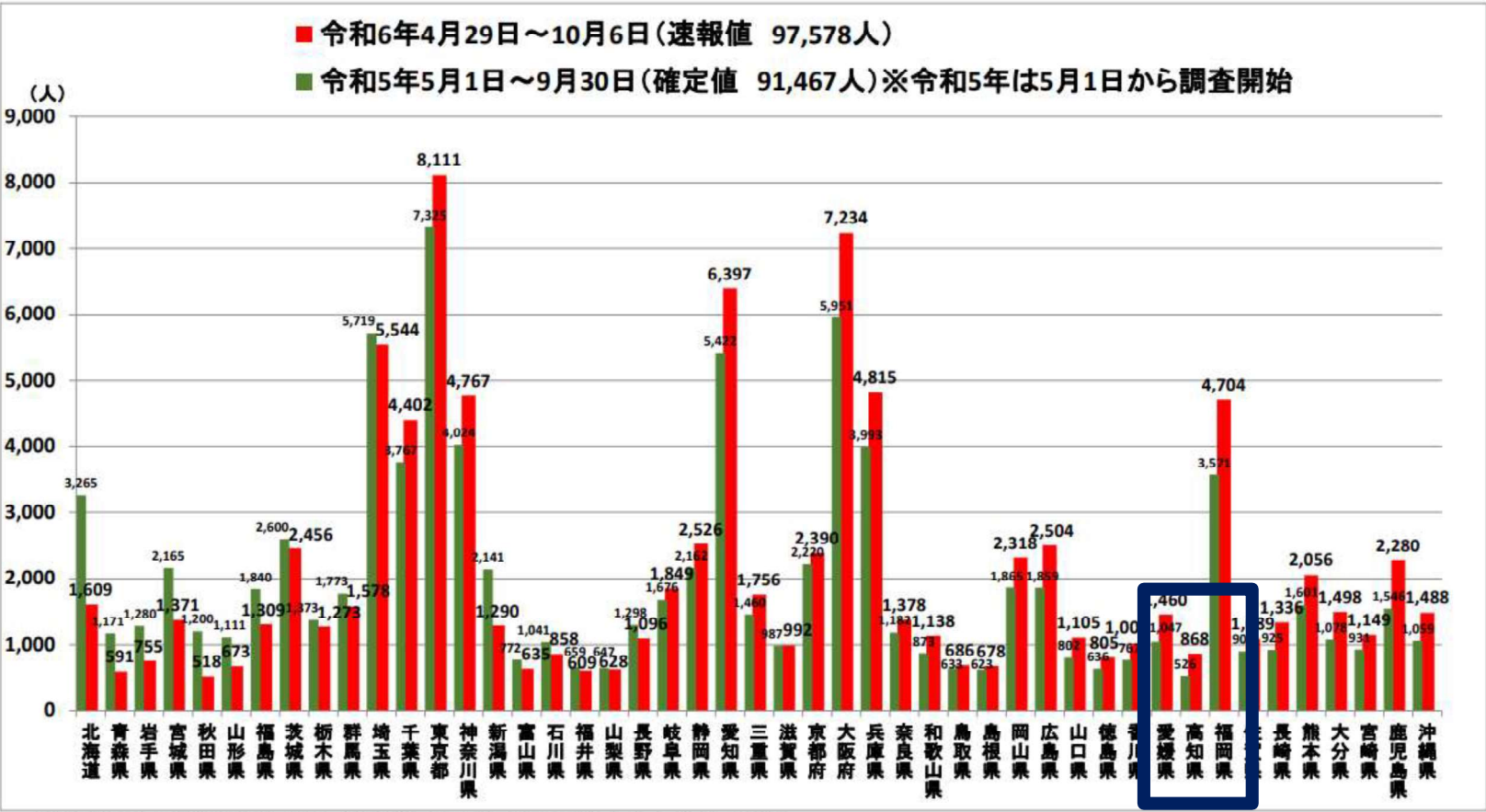


県内スーパー 生産者様への取組



令和6年 熱中症搬送件数 全国（令和6年は速報値）

全国は91,467件⇒97,578件（106.7%） 高知県526件⇒868件（165.0%）



* 速報値(赤)の救急搬送人員は、後日修正されることもありますのでご了承ください。
* 5月1日～9月30日の救急搬送人員は97,117人。

出典：総務省 消防庁 HP 抜粋

令和6年 熱中症搬送者数 年代別・発生場所別

高齢者が**61.9%**（全国平均57.4%）で住居が**42.5%**の（全国平均38.0%）

【年代別】

都道府県	令和6年4月29日～					
	年齢区分別(人)					
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
39 高知県	0	1	66	263	538	868
40 福岡県	0	30	478	1,000	2,390	4,704
41 佐賀県	0	8	125	368	588	1,089
42 長崎県	0	5	124	419	788	1,336
43 熊本県	0	17	254	615	1,170	2,056
44 大分県	0	9	119	391	979	1,498
45 宮崎県	0	2	124	366	657	1,149
46 鹿児島県	0	11	265	666	1,338	2,280
47 沖縄県	0	19	164	546	759	1,488
合計	2	605	8,823	32,186	55,962	97,578
割合	0.0%	0.6%	9.0%	33.0%	57.4%	100.0%

【発生場所別】

都道府県	令和6年4月29日～10月6日(速報値)								
	発生場所別(人)								
	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計
1 北海道	745	154	63	52	130	210	164	91	1,609
39 高知県	369	54	59	38	52	70	147	79	868
40 福岡県	1,716	332	87	288	888	878	888	297	4,704
41 佐賀県	362	109	57	41	72	223	145	80	1,089
42 長崎県	476	138	74	38	93	267	180	70	1,336
43 熊本県	741	175	106	101	128	309	319	177	2,056
44 大分県	703	95	27	33	108	210	204	118	1,498
45 宮崎県	466	124	56	53	70	186	141	53	1,149
46 鹿児島県	899	212	93	126	130	372	245	203	2,280
47 沖縄県	608	160	53	71	123	221	152	100	1,488
合計	27,027	6,846	2,250	2,805	7,628	12,702	19,500	5,440	97,578
割合	38.0%	10.1%	2.4%	4.0%	7.8%	13.1%	19.1%	5.6%	100.0%

※仕事場②：田畑、森林、海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ

熱中症警戒アラート発表状況（四国4県）

熱中症警戒アラート増加

熱中症の危険性に対する「気づき」を促すものとして、府県予報区等内において、いずれかの暑さ指数情報提供地点における、翌日・当日の日最高暑さ指数（WBGT）が33（予測値）に達する場合に発表。

年毎 4月末～10月末の発表状況

	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)
高知県	8	21	16	50
徳島県	12	32	25	47
愛媛県	15	33	26	47
香川県	16	30	30	44

令和7年度の暑さ指数（WBGT）・熱中症警戒アラート等の情報提供は、4月23日（水）から10月22日（水）まで実施
前日夕方(17時頃)または当日早朝(5時頃)発表

データソース：環境省 | 熱中症特別警戒アラート・熱中症警戒アラートの発表状況
 ＊熱中症特別警戒アラート・熱中症警戒アラートの発表状況2021年から2024年抽出
 ＊熱中症特別警戒アラート発表無しの為、熱中症警戒アラートのみ記載 ＊2020年試行

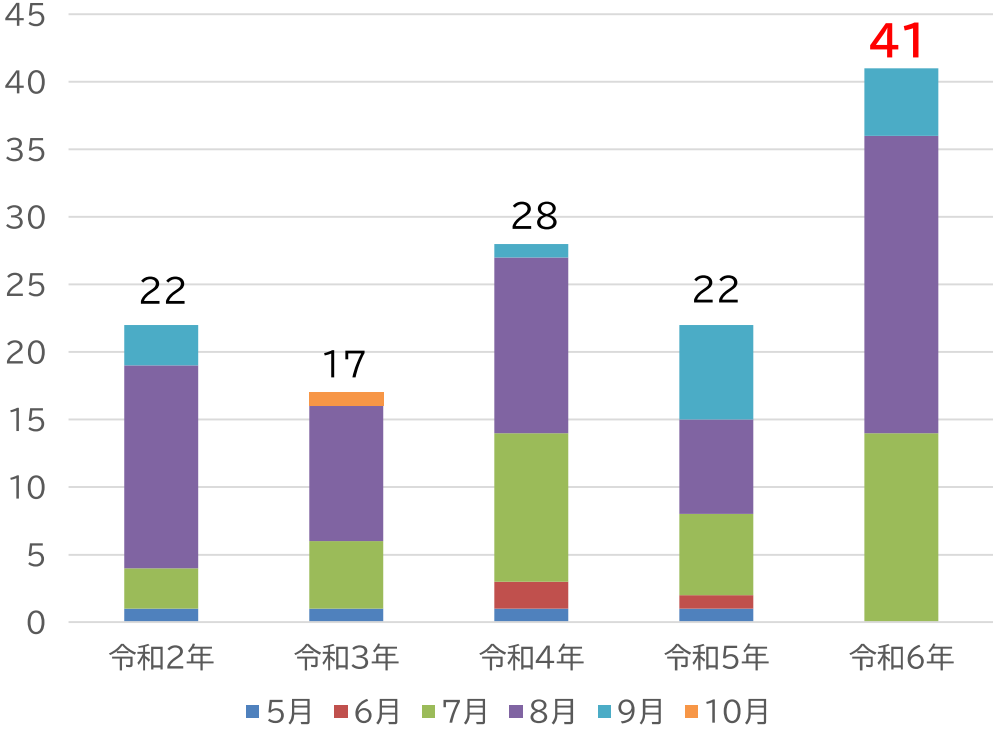
令和6年 香美市 熱中症搬送者数 年別推移

全国は91,467件⇒97,578件（106.7%） 高知県526件⇒868件（165.0%）
 香美市22件⇒**41件**（186.4%）

搬送人員(熱中症確定)
 熱中症サーベイランス報告期間

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	計
1月						
2月						
3月						
4月						
5月	1	1	1	1		4
6月			2	1		3
7月	3	5	11	6	14	39
8月	15	10	13	7	22	67
9月	3		1	7	5	16
10月		1				1
11月						
12月						
計	22	17	28	22	41	130

年別搬送人員(熱中症確定)



令和6年 香美市 熱中症搬送者数 月別推移

7-9月の搬送者は例年多く、暑くなる時期が早まっていることから 早目の対策も必要

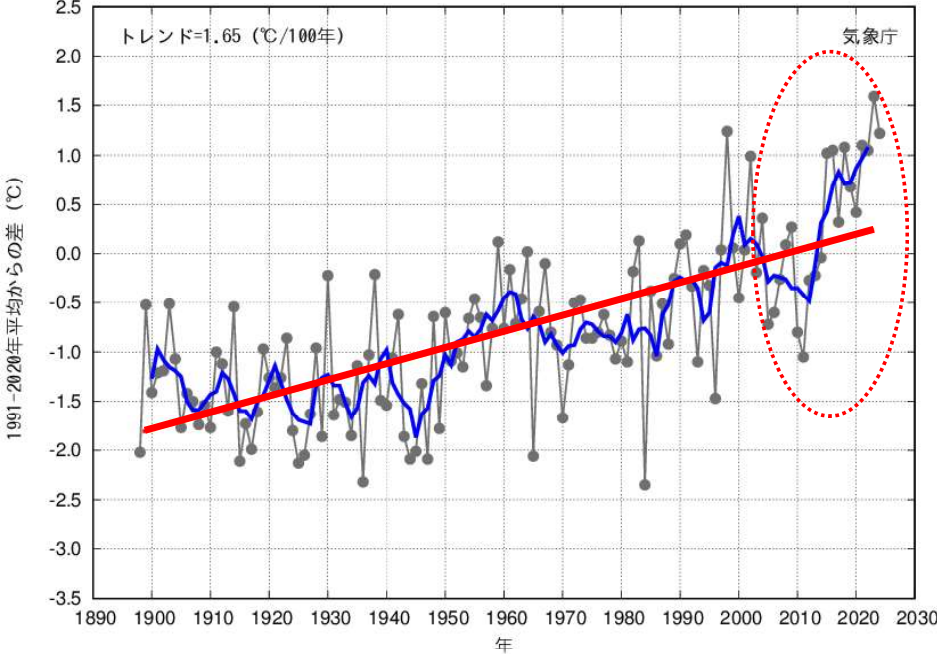
搬送人員(熱中症確定)
熱中症サーベイランス報告期間

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	計
1月						
2月						
3月						
4月						
5月	1	1	1	1	0	4
6月	0	0	2	1	0	3
7月	3	5	11	6	14	39
8月	15	10	13	7	22	67
9月	3	0	1	7	5	16
10月	0	1	0	0	0	1
11月						
12月						
計	22	17	28	22	41	130

暑くなる時期が早まっている (全国)

2024年春 平均気温の基準値*からの偏差は、
+1.22℃で、統計開始以降、3番目に高い値。

日本の春(3~5月) 平均気温偏差



データソース：気象庁 | 日本の春(3~5月)平均気温偏差の経年変化 (1898~2024年)
* 基準値：1991~2020年の30年平均値

香美市 熱中症搬送者数 分析

高齢者が**78.0%**（県平均61.9%）で住居が**58.5%**の（県平均42.5%）
 屋内での熱中症搬送者が多く、特に住宅・**高齢者**が県との比較でも多い

令和6年 香美市消防本部熱中症救急出動件数等調査表

診断結果 ()は、4月29日から10月6日までの期間内件数等

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
住宅				3 人	21 人
仕事場(屋外)					1 人
仕事場(屋内)				1 人	
教育機関				2 人	
公衆出入場所(屋外)				1 人	1 人
公衆出入場所(屋内)					3 人
道路				1 人	3 人
その他				1 人	3 人
計	0 人	0 人	0 人	9 人	32 人

総計 41 人

課題①昨年並の猛暑の中、どう対策するか

★熱中症警戒アラート16回⇒50回

熱中症搬送数対前年 全国：106.7% 高知県：165.0%
香美市：186.4%

課題②高齢者の熱中症対策について

★高齢者の割合 全国平均：57.4% 高知県61.9% 香美市：78.0%

課題③香美市生活者への正しい知識啓発

★塩分を含めた水分補給、生活習慣を整えること、朝食摂取の提案など

課題①

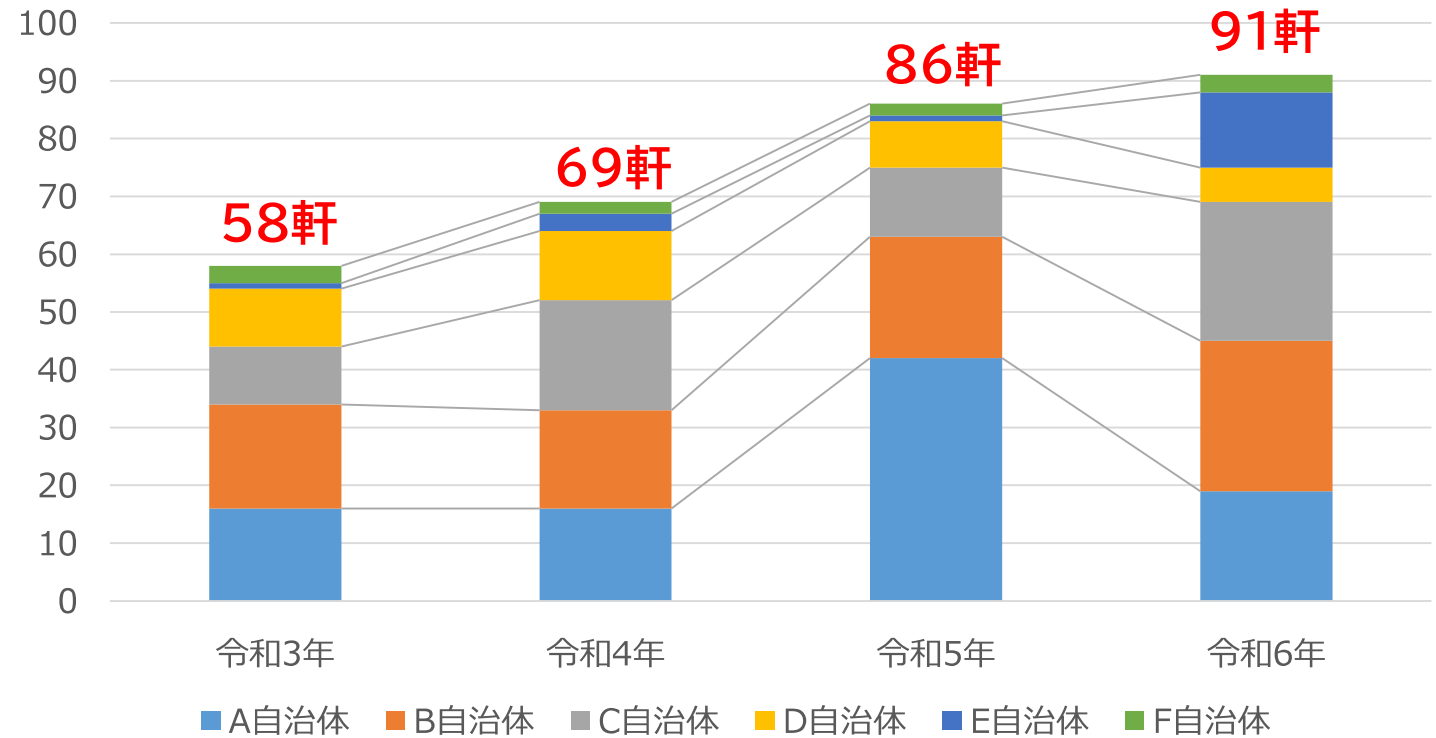
昨年並の猛暑の中、どう対処するか



【参考】令和6年 熱中症搬送者数 年別 県内自治体(地区)

熱中症搬送数86軒⇒91軒(前年比105.8%)
高齢者の割合は60.9%⇒54.2%↓

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
A自治体	16	16	42	19
B自治体	18	17	21	26
C自治体	10	19	12	24
D自治体	10	12	8	6
E自治体	1	3	1	13
F自治体	3	2	2	3
合計	58	69	86	91



朝から**防災無線**にて注意喚起がポイントの可能性も 防災無線での気付き⇒**小売業・交通・見回り事業**などで更に気付き

	参画団体	防災無線等活用について
県内 自治体 (地区)	A自治体	防災無線、昨年まで11時判断だったが、本年より9時判断で放送、LINE連動(8000名)、 昨年まではクレームが来てたが、本年は催促になった。
	B自治体	防災無線はほぼ使わず 、LINEでの周知は3回程度(6654名)クレームが来るため回数を増やさなかった。
	C自治体	防災無線はクレームがくるため実施せず 。LINEも活用しておらず、通信手段なし。
	D自治体	防災無線、予約して放送8時半、LINE連動1740名友達(9000名)
	E自治体	昼2時の防災アラート、LINE連動
	F自治体	1日に3回(朝6時、夕方、夜6時)熱中症アラートを消防が流している。

課題②

高齢者の熱中症対策



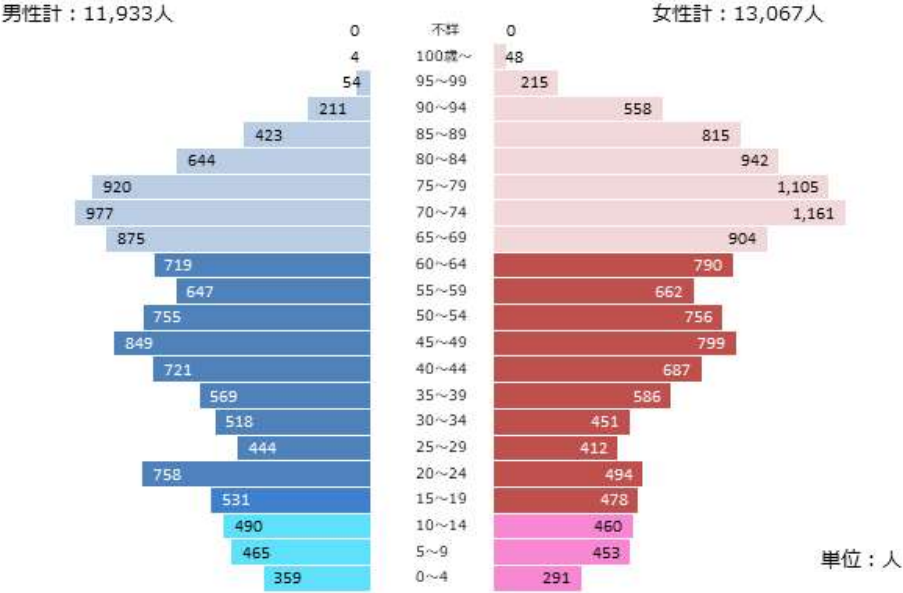
高齢化率全国平均は28.7% 高知県35.3% 香美市38.8%
香美市の2020年の総人口にしめる65歳以上の割合（高齢化率）は3割を超えており、高齢者の方への熱中症対策啓発は必要

香美市の高齢化率の推移



※高齢化率：総人口にしめる65歳以上の人口割合（％），年齢不詳を除いて算出
 ※図中の緑の点線は、前回2018年3月公表の「将来人口推計」に基づく当地域の高齢化率

香美市の2024年1月1日の人口構成（住民基本台帳ベース、総人口）



単位：人

**極端な高温が予想される場合には
「熱中症弱者」への社会的サポートを**

情報提供をする

居室の温度の確認

水分補給を勧める

健康状態の確認

高齢者に対して積極的に声をかける

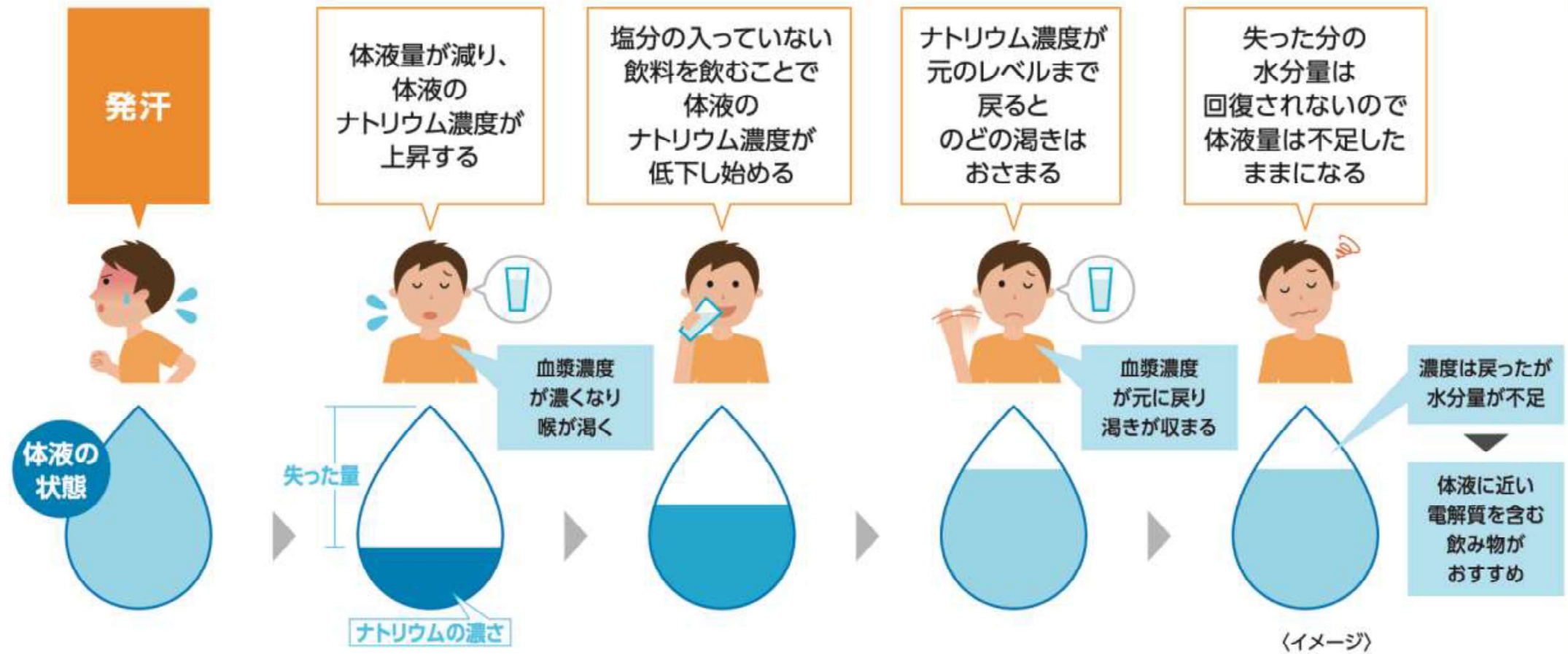
日本生気象学会「日常生活における熱中症予防」より作成



課題③

香美市生活者への
より良い啓発について

水だけじゃダメ？塩分(ナトリウム)の補給も必要



熱中症対策アンバサダーについて

今回ご出席の団体様で合わせて**約70名**に受講いただき、熱中症対策を訴求いただきます。

熱中症対策アンバサダー講座

主 催：大塚製薬株式会社
特別協力：独立行政法人環境再生保全機構
後 援：環境省、文部科学省、農林水産省

熱中症の発生を防ぐためには、個々で気を付けていくことはもちろんですが、正しい知識をもって熱中症対策をおこなうことができるよう、多くの方々に呼びかけていくことも必要です。当講座では、熱中症対策の啓発・普及活動をおこなう際に必要な知識を学んでいただくことができ、修了された方は「熱中症対策アンバサダー」として認定されます。

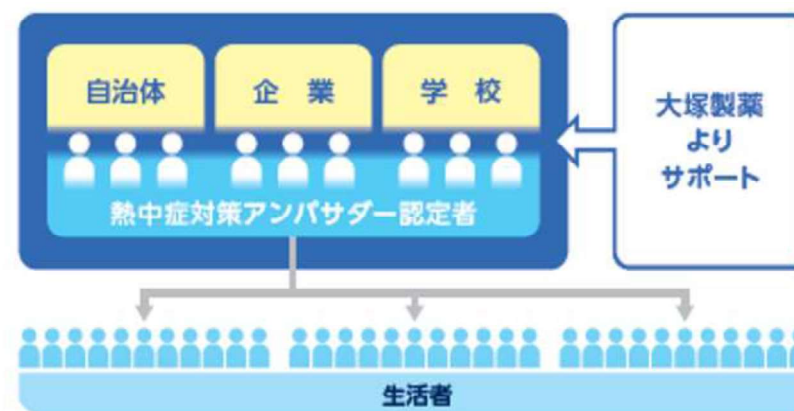
近年、地球温暖化による気温上昇や、生活様式の変化による新たな熱中症リスクの発生により、ますます熱中症対策の重要性が高まっています。

熱中症対策を伝える“確かな人材”を増やしていきたいという自治体・学校・企業等の組織・団体の皆さま、是非この機会に、本講座をご活用いただければ幸いです。

ご活用シーン



熱中症対策アンバサダーの活動イメージ



①熱中症アンバサダー取得

②各参画団体様のお取組み

③医師による熱中症対策講演会 (対象：クリニック医師・看護師・保健師)

地域連携で県民を守る熱中症対策

【日時】2025年 7月4日（金） 18:30～20:10
 【形式】ハイブリッド開催（会場およびZoom Webinar）
 【会場】ちより街テラス 3F会議室 高知市知寄町2丁目1-37
 ※会場参加は先着30名様 開場時間18:00

18:30 (10分) 情報提供	「情報提供」 大塚製薬株式会社 杉本 啓輔
18:40 (15分) 基調講演	座長：高知医療センター 救命救急センター 副センター長 盛實 篤史 先生 『高知県における暑熱・熱中症の状況』 演者：高知県 衛生環境研究所 環境科学課長 山下 浩 氏
19:00 (60分) 特別講演	『熱中症は“室内で”起こる』 ～高齢者に必要な環境調整と水分戦略～ 演者：近森病院 救命救急センター 救急部長 井原 則之 先生
■日本医師会生涯教育講座 1単位 (CC4 医師-患者関係とコミュニケーション)	

主催：大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部
 後援：高知県 （一社）高知県医師会 （公社）高知県看護協会
 【お申込み】セミナーのお申込みは、2次元コードまたは下記URLからアクセスして7月3日（木）までにお申し込みください。参加者確認のため、施設名・氏名の入力をお願い致します。会場は定員を超えた場合、Zoomでのご参加となります。
<https://otsuka-jp.zoom.us/j/94400626992?pwd=UUXIeLHaG43h6ZUOYb9sHlaGm2GTAU.1>
 ※入力頂いた個人情報は、本セミナーの運営（申込受付・案内など）、単位申請のために使用します。また事前の許諾なく、主催関係者および業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。個人情報、大塚製薬株式会社の個人情報保護方針に基づき、安全かつ適切に管理いたします。
 <問い合わせ先> 大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部 徳島支店 高知出張所
 Tel：088-883-7931 Mail：opc_nc4104ss@otsuka.jp 受付時間：9:00～17:00（土日祝日除く）
 Tel：080-2023-3760（当日） 担当者：杉本啓輔



熱中症啓発ポスター

香美市と大塚製薬は連携協定を締結し、
熱中症対策を推進しています。

※イメージ
作成中

熱中症は怖いからねえ
ちゃんと水分補給してよ〜

3POINT
熱中症対策

POINT1
こまめな水分補給

POINT2
適度な塩分を補給する

POINT3
暑いときには無理をしない

おすすめの水分補給

塩分 0.1~0.3%
糖質 0.1~0.3g (100ml)

糖分 4~8%
100ml以上の糖質を
含む飲料

栄養成分表示を
チェック

塩分補給剤を
補給しよう

熱中症啓発チラシ

毎日の健康のために /

高齢者のための熱中症対策

監修：中京大学スポーツ科学部教授/薬師・理学博士 松本 孝朗先生

高齢者は加齢とともにカラダの水分量が減ったり、温度に対する感覚が弱くなるため、
熱中症にかかりやすいといわれています。
ご本人および周囲の方は、以下のことを気にしながら、熱中症対策をおこない、
暑い時期を乗り切りましょう。

熱中症の原因

加齢によるカラダの変化

体内の水分量の減少
老化による体内の水分量の減少は、汗をかき
量の低下をまねく。過剰な熱をカラダから
放出しにくくなります。

暑さを感じにくく
温度に対する感受性も低下するため、暑さを
自覚しにくくなります。

のどの渇きを感じにくい
「口渴中枢」の機能が低下するため、脱水状態
においても、のどの渇きを感じにくくなります。

暑熱順化不足

カラダが暑さに慣れていない(暑
熱順化不良)と、発汗による体温調
節機能が十分に働かせません。本格
的に暑くなる前から運動などで、
カラダを暑さに慣らし、汗をかき
やすくしておくことが大切です。

熱中症予防のポイント

暑さを避けましょう

暑い日は、涼しい服装や日傘・帽子の使用を
心がけることが大切です。少しでも体調が悪
なったら、涼しい場所へ移動するようにしま
しょう。

室内環境を整えましょう

高齢者の熱中症の特徴として、室内で多く発
生していることがあげられます。部屋の温度
が上がらないように工夫するとともに、こま
めに温度をチェックするようにしましょう。

こまめに水分補給

汗をかき体温調節をするためにカラダの水
分量の維持は欠かせません。のどが渇いてい
なくても、こまめな水分補給を心がけましょう。

日頃から体調管理

食卓から「栄養バランスの良い食事」「適度な
運動」「十分な睡眠」で規則正しい生活を意識
し、体調管理に努めましょう。

熱中症からカラダを守ろう

監修：早稲田大学 人間科学学術院 保健・体育研究科教授 夏野 / 博士(医学)永島 計先生

近年、地球温暖化による気温上昇等により熱中症リスクが高まっています。
熱中症のリスクを下げるためには、「涼しい体感の上昇を抑える」「水分のバランスを整える」
この2つを同時に行うことが効果的です。

熱中症の実際

「熱」「水分バランス」の
コントロールで熱中症対策

アイス
スラリー +
イオン
飲料

体温が上昇し、脱水がすすむと水分バランスの乱れや体温調節機能が低下します。
その結果、熱中症を引き起こされます。
熱中症のリスクを軽減するためには、水分バランスを適切に保ち、
体温調節機能を維持することが重要です。そのためにはカラダの内部冷却と水分電解質補給を
セットで実践することが効果的な対策と考えられます。

熱中症予防のポイント

熱(体温)をコントロールしましょう

室内環境の調整
上手にエアコンを使いましょう。

衣類による調節
体表からの発熱
⇒外服冷却

体内部からの発熱
⇒内服冷却

内服方法の手順の1つがアイススラリーです。アイススラリーは、
流動性が高いことから涼感の水や飲料よりも、体内部の冷却がし
かりと効果的。涼感よく発熱を抑えることが出来るアイススラリーが
あります。暑熱環境下では、運動前に身体を冷やすプレクーリング
が効果的に行われています。

水分バランスをコントロールしましょう

食事をきちんと摂りましょう
1食3回の食事での約1,000mlの水分が摂れます。
お粥に味噌汁を加えるとさらに摂れます。

こまめに水分補給をしましょう
通常の生活では1日あたり
1,200mlを目安に水分補給をしましょう。
1日に飲みたい、1日にこップ1杯程度の
水分補給を目安にすると良いでしょう。
水分を摂りたい時は、思ったより喉が渇くよう心がけましょう。
お粥や味噌汁、アイススラリー、アイススラリーを上手に活用して水分補給をしましょう。

水分補給の工夫

こまめに水分と塩分を
一緒に摂ろう

汗をたくさんかくと、
塩分と一緒に塩分も失われます。
水分と塩分の両方には
イオン飲料がオススメです。

おすすめの飲料は /
塩分 0.1~0.2%
塩分補給量
0.1~0.2g (100ml)

様々な対象に啓発ができるように複数のチラシをご用意

【高齢者向け】

毎日の健康のために / 高齢者のための熱中症対策

熱中症の原因

高齢者は加齢とともにカラダの水分量が減ったり、室温に対する感覚が弱くなるため、熱中症にかかりやすいといわれています。ご本人および周囲の方は、以下のことを常にしながら、熱中症対策をおこない、暑い時期を乗り切りましょう。

熱中症の原因

夏によるカラダの変化

体内の水分量の減少
老化による体内の水分量の減少は、汗をかき暑さの低下を促します。高齢者は熱をカラダから放出しにくくなります。

暑さを感じにくい
高齢者に対する感覚も低下するため、暑さを感知しにくくなります。

暑さを感じにくい
[3秒中絶]の感覚が低下するため、熱中症にかかりやすくなります。

熱中症予防のポイント

暑さを避けましょう
暑い日は、涼しい服装や日陰・涼しい場所での活動をお願いします。

室内環境を整えましょう
高齢者は暑がりな傾向として、室内で多く生活することがあります。室温が25℃以上、湿度が60%以上にならないようエアコンを上手に活用して快適な環境を整えましょう。

こまめに水分補給
口を乾かさないようにこまめに水分補給をお願いします。

日頃から体調管理
高齢者から暑がりな傾向として、室内で多く生活することがあります。室温が25℃以上、湿度が60%以上にならないようエアコンを上手に活用して快適な環境を整えましょう。

【一般向け】

熱中症からカラダを守ろう

近年、地球温暖化による気温上昇等により熱中症リスクが高まっています。熱中症のリスクを下げるためには、「室温調整の上昇を踏まえ」「水分のバランスを整える」この2つを同時にすることが効果的です。

「熱」・「水分バランス」のコントロールで熱中症対策

室温が上昇し、湿度が高くなると水分バランスの乱れや体温調節機能が低下します。その結果、熱中症が引き起こされます。熱中症リスクを軽減するためには、水分バランスを適切に保ち、体温調節機能を維持することが重要です。そのためにはカラダの内部環境と水分調節機能をサポートすることが効果的な対策と見られます。

熱中症予防のポイント

熱(体温)をコントロールしましょう

室内環境を整えよう
室温が25℃以上、湿度が60%以上にならないようエアコンを上手に活用して快適な環境を整えましょう。

水分バランスをコントロールしましょう

食事や飲み物をこまめに摂りましょう
1日3食の食事や1日2000ml程度の水分を摂りましょう。1日に摂る水分量は、1日に摂った水分量とほぼ同じです。

こまめに水分補給をしましょう
1日3食の食事や1日2000ml程度の水分を摂りましょう。1日に摂る水分量は、1日に摂った水分量とほぼ同じです。

水分補給の工夫
飲む水の工夫
飲む水の工夫
飲む水の工夫

【子ども向け】

お子様の熱中症対策を万全に 元気に夏を過ごそう！

子どもの熱中症リスク

暑さを避けよう
暑い日は、涼しい服装や日陰・涼しい場所での活動をお願いします。

室内環境を整えよう
室温が25℃以上、湿度が60%以上にならないようエアコンを上手に活用して快適な環境を整えましょう。

水分補給の工夫
飲む水の工夫
飲む水の工夫
飲む水の工夫

3つのカンタン習慣で、夏を元気に！

暑さを避けよう
暑さを避けよう
暑さを避けよう

室内環境を整えよう
室内環境を整えよう
室内環境を整えよう

水分補給の工夫
水分補給の工夫
水分補給の工夫

【事業所向け】

毎日の健康のために / 適切な熱中症対策を

熱中症とは

熱中症は、高温多湿の環境下で長時間活動することによって、体内の水分や塩分が失われ、体温が上昇し、意識障害やけいこ、嘔吐、下痢などの症状が現れる病気です。重症化すると命を失う危険があります。

熱中症の予防

暑さを避けよう
暑さを避けよう
暑さを避けよう

室内環境を整えよう
室内環境を整えよう
室内環境を整えよう

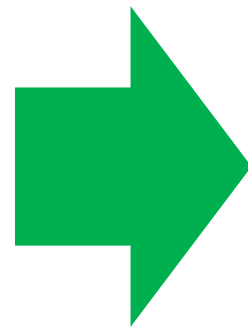
水分補給の工夫
水分補給の工夫
水分補給の工夫

熱中症の発生状況

熱中症の発生状況
熱中症の発生状況
熱中症の発生状況

市民の方に熱中症を正しく知っていただき、救急搬送数を参考指標として確認します。

令和6年
実績
41件



令和7年
目標
29件
約30%減

香美市の熱中症予防の取組

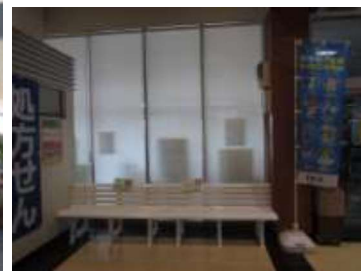
- ◆対象 : 香美市全市民
- ◆目的 : 市民が熱中症予防の正しい知識を持ち、予防行動をとる事ができる
- ◆期間 : 令和5年度春～

健康づくり団体や高齢者に関わる方への啓発



- ・香美市民が集まる場での啓発
- ・高齢者への見守りや声掛けを依頼

クーリングシェルター



- ・香美市内13か所に設置
- ・事業所とも協力

熱中症警戒アラート



- ・防災行政無線での周知
- ・広報誌や香美市公式ラインでの啓発

職場での熱中症予防について

- ◆対象 : 消防職員(活動隊)
- ◆期間 : 高温期(夏季)
- ◆目的 : 熱中症予防

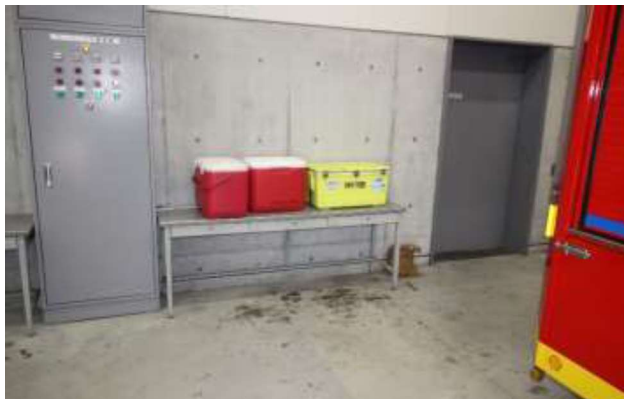
活動時の体温上昇予防

- ◆ 出動時、クールベストの着用
- ◆ 防火衣に保冷材の装着



水分補給・交代要員の派遣

- ◆ 現場へのスポーツドリンク持参(交代で水分補給)
- ◆ 長時間活動時、早めの交代要員派遣



暑熱順化訓練

- ◆ 高温期前から高温状態に順化するための訓練を実施(徐々に体を慣らしていく)



教育現場での児童生徒に対する熱中症予防対策

◆対象 : 香美市立小・中学校の児童生徒

◆目的 : 児童生徒の命を最優先に考え、熱中症による事故防止を図る。

※令和6年5月に「香美市立小中学校熱中症対応におけるガイドライン」を策定

熱中症予防の原則

◆ 学校での体育・スポーツ活動において、スポーツ庁による「熱中症予防の原則」を守り、熱中症の予防に努める。

1. 環境条件を把握し、それに応じた運動、水分補給を行うこと
2. 暑さに徐々に慣らしていくこと
3. 個人の条件を考慮すること
4. 服装に気を付けること
5. 具合が悪くなった場合には早めに運動を中止し、必要な処置をすること



体育・スポーツ活動時の対策

◆ 体育・スポーツ活動時の熱中症予防の指標としては、暑さ指数(WBGT)を用いる。暑さ指数が31℃を超える場合は、活動の中止や休憩など、児童生徒の体調を最優先した適切な対応を行うこととする。

1. 活動中、具合が悪くなったら、我慢しない、自由に水分補給をしてよい等の保健指導を行う。
2. 声掛けを行う等の健康観察により、児童生徒の健康状態を把握する。
3. 休憩時間を計画的にとる。児童生徒の体調に応じて、授業内容の変更や休憩回数を増やすなどの対応を行う。
4. 適宜十分な水分補給を促す。
5. 必要に応じて、帽子の着用を促す。

体育・スポーツ活動時以外の対策

- ◆ 教室内の授業(活動)
空調設備を運転させることにより、教室内の温度を28℃以下に保つ。
- ◆ 屋外での活動
暑さ指数が31℃を超える場合は、活動の中止や時間短縮等の対応を検討する。
- ◆ 各種行事(運動会・校外学習等)
最高気温が31℃、または暑さ指数が28℃以上の場合、学校長は実施の可否を検討する。
- ◆ 登下校時
季節や体調に応じた服装や帽子の着用、日傘の使用推奨、適切な水分補給の指導と保護者への注意喚起を行う。

バス・電車等での熱中症予防啓発活動

1 バス・電車等を活用した市民への啓発等

熱中症資材（ポスター等）
を活用した啓発活動

- ◆ 待合、停留所、車内等へのポスター掲出等により、市民に向けた啓発を行います。

バス・電車 車内放送

- ◆ 車内放送にて熱中症に関する啓発、注意喚起等を行います。



2 社内における熱中症対策の強化

熱中症対策アンバサダーの
資格習得

- ◆ 現場での熱中症対策に関する有識者の育成
 - ・ 熱中症対策アンバサダーの知識を、現場での活動、お客さまサービスに役立てます。



※ **公共交通の利用促進** 地球温暖化対策（Co2削減）の観点から、バス・電車の利用を促進

RKCラジオによる熱中症に関する情報周知



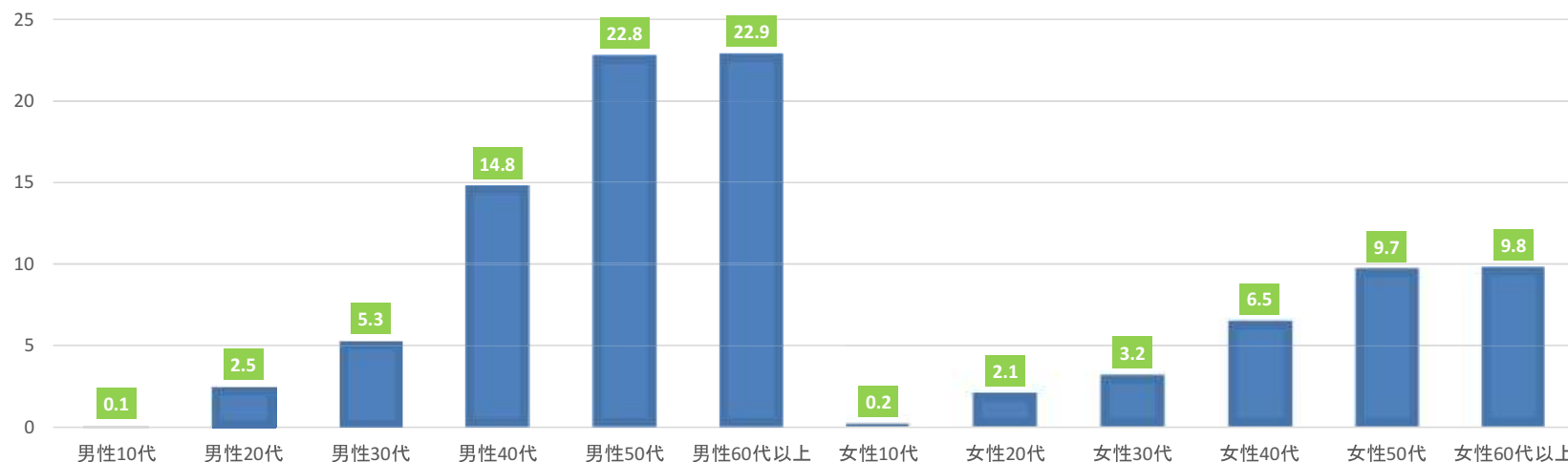
- ◆ 対象 : RKCラジオリスナー
- ◆ 期間 : 令和7年4月以降
- ◆ 番組・コーナー名 : ①「高知新聞ニュース・天気予報」 ※熱中症（特別）警戒アラート周知
②「とさこちラジオ」/「ぶちぬきFRIDAY」 ※熱中症予防行動訴求
- ◆ 目的 : 環境省と気象庁の“熱中症（特別）警戒アラート”発表を受けて、RKCラジオリスナーに対して周知。
あわせて「不要不急の外出を避け、昼夜問わずエアコンを使用」など、熱中症予防行動も訴求します。

〈熱中症警戒アラート〉1日2回、前日17時頃または当日5時頃発表。2024年度は高知県で50回発表。

〈熱中症特別警戒アラート〉1日1回、前日14時頃発表。2024年度は発表無し。

◆リスナープロフィール
2025年3月
RKCラジオを“radiko”
アプリで聴取した方の
性別と年齢構成比。
(ライブ+タイムフリー)
※カーラジオなどによる
ラジオ聴取者は含んで
いません。

‘25年3月 RKCラジオリスナー（radikoアプリのみ）



RKCラジオによる熱中症に関する情報周知

「ニュース番組」内での 熱中症（特別）警戒アラート周知

月～金	土	日
「高知新聞ニュース・天気予報」8:30～		
「 // 」10:00～		
「 // 」11:00～	11:55～	11:00～
「 // 」13:55～		
「 // 」14:55～	13:55～	
「 // 」16:30～	16:30～	16:00～
「RKCイブニングニュース」17:46～		17:55～

👉 ◆ニュース番組では「熱中症（特別）警戒アラート」を周知します

◆ 情報ワイド番組では主に「熱中症予防行動」を訴求します 👉

「情報ワイド番組」内での 熱中症予防行動訴求



「とさこちラジオ」月～木 7:45～11:45



「ぶちぬきフライデー」金 7:45～11:25/13:00～16:30

RKC高知放送

鍛冶職人工房および鍛冶屋創生塾における熱中症対策

- ◆目的： 鍛冶職人・研修生への熱中症に関する情報周知
土佐打刃物ふるさとの先人の汗も涙、そして鍛冶職人を守る



鍛冶場特有の暑熱環境(市内で一番暑い！?) 問題点

◆ 高温の炉や火床からの輻射熱

直接火を扱うため、周囲温度以上に体感温度が高い。
作業台付近の温度は40~50℃を超えることも。
年間通して炉の温度800~1000℃と暑い

◆ 換気しづらい作業環境

炉の熱や火花の飛散を防ぐため、外気を遮断していることが多く、
風通しも悪い。

◆ 防具・作業着による熱のこもり

火傷防止のため、手袋・エプロン・長袖を着用しているため
発汗しても発散しづらい。

◆ 長時間の集中作業による水分補給の遅れ

一つの刃物の鍛造に集中するあまり、
こまめな水分・塩分補給が疎かになりやすい。

◆ 高齢職人の多さ

土佐打刃物の伝統を継ぐ職人には高齢者も多く、
熱中症に対する身体的耐性が低い。

作業環境の改善・習慣の見直し支援

◆ 総会(5月27日)での啓発

熱中症対策啓発リーフレット
熱中症対策飲料の配布



◆ 熱中症対策ポスターの活用 熱中症対策取組みの共有



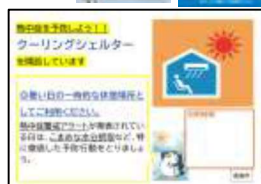
スーパーマーケットだから出来る熱中症に関する啓発活動

- ◆対象 : 3店舗 ノア店、かがみの店、PM土佐山田店
- ◆期間 : 5~9月 梅雨入り前、梅雨明け、香美市夏祭り前
- ◆目的 : お客様に熱中症対策の意識を高めてもらう



クーリングシェルター 休憩場所の提供

- ◆ 香美市指定のぼり旗等を設置し、暑熱避難施設として利用しやすく、日頃からの熱中症対策を心がけていただくように、啓発を進める。リーフレット、ポスター設置。

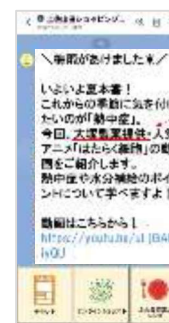


熱中症対策食品+朝食 店頭から注意喚起

- ◆ 熱中症対策飲料など水分補給、適度な塩分補給 対象商品を展開、啓発POP、ポスターの活用。スーパーマーケットの利点を生かし幅広い品揃えでお客様に熱中症対策の意識を高めてもらう。
- ◆ 今年は切り口を増やし「朝食をしっかりとろう」をテーマの売場も実施・展開を予定。

チラシ・SNS による 熱中症対策関連情報の発信

- ◆ チラシ・SNS等スーパーマーケットの情報提供ツールを有効に使い、お客様への啓蒙活動を行います。
- ◆ はたらく細胞×ポカリ熱中症啓発動画活用



熱中症対策アンバサダー 取得・声掛け活動

- ◆ 店長を中心に熱中症対策に関する有識者の育成。熱中症対策アンバサダー資格取得者を増やし、従業員・お客様へのアドバイスができる社内環境に取り組みます



ホームセンターから～熱中症対策の情報発信と対策提案～

- ◆対象店舗：高知県下17店舗
- ◆期 間：令和7年6月～（終了は状況を見て判断）
- ◆目 的：屋外作業をするお客様が多い売り場を中心に情報発信や提案を行い危機意識レベルを上げる



店内放送での注意喚起

店内放送で1時間おきに熱中症対策の情報発信。
お客様と社員に対して注意喚起を行う。



売り場啓発ポップ

屋外作業に関連する売り場にPOPを設置し、分かりやすい情報を発信する。



商品提案

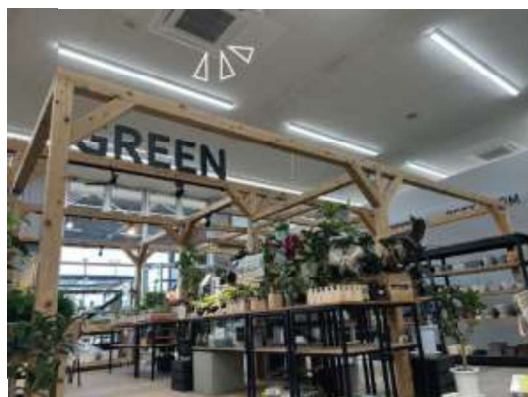
熱中症で搬送される患者の多くは、住宅内にいる高齢者が多いため視覚で判断できる商品コーナーを設置する。



9:00~16:00

ポイントなどを分かりやすく！

温湿度計



判断しやすい
温湿度計を！



地域の熱中症予防に関する啓蒙活動

- ◆対象 : 来店者への熱中症啓発活動
- ◆期間 : 2025年6月下旬～8月中旬まで(予定)
- ◆目的 : 地域の方へ熱中症に対しての正しい知識を啓蒙する。

熱中症対策売り場の拡充

- ◆熱中症対策の売り場での予防/対策の啓蒙
- ◆スポドリ/傾向補水液の正しい使い方の啓蒙

レシートを使っての 情報伝達

- ◆高齢者を中心に熱中症対策についての情報発信

熱中症対策啓発 イベントの開催

- ◆管理栄養士によるおすすめの熱中症対策の食事提案
- ◆薬剤師目線での特定の疾患者への熱中症リスクの講座

ドラッグセイムスだからできる熱中症対策

～健康で楽しい毎日をサポートする、安心と信頼の地域拠点～

- 期間：令和7年 6月下旬～8月下旬
 目的：市民への熱中症対策の啓発と救急搬送者の削減
 活動：香美市内 3店舗での熱中症対策売り場展開と熱中症啓発活動

熱中症対策売り場の拡充



◇売り場を使用した啓蒙活動

熱中症対策売り場の作成による訴求
 (スポドリ、熱中症対策商品など)



販促物を利用した経口補水液などの正しい情報知識
 の伝達

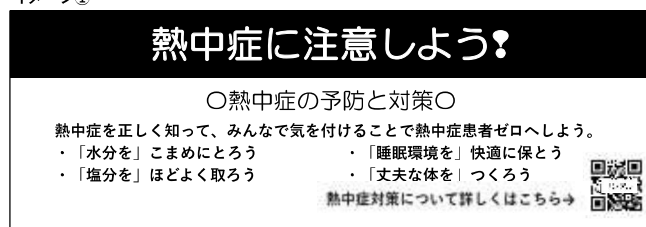
ドラッグセイムスだからできる熱中症対策

～健康で楽しい毎日をサポートする、安心と信頼の地域拠点～

期間：令和7年 6月下旬～8月下旬
 目的：市民への熱中症対策の啓発と救急搬送者の削減
 活動：香美市内 3店舗での熱中症対策売り場展開と熱中症啓発活動

レシートを使っての情報伝達

イメージ①



イメージ②



◇レシート告知で、地域の方への啓蒙活動

一定の年齢以上の方に発行可
 期間中で同一者に同じ案内が発行されないように、1ID_1枚発行可能。
 期間は任意に設定

左記のような自治体からのお知らせも記載可能
 ※ただし、レシートサイズの為、表示できる情報量に限りがある。
 その場合はQRコードを利用した外部HPへの誘導も可能

ドラッグセイムスだからできる熱中症対策

～健康で楽しい毎日をサポートする、安心と信頼の地域拠点～

期間：令和7年 6月下旬～8月下旬

目的：市民への熱中症対策の啓発と救急搬送者の削減

活動：香美市内 3店舗での熱中症対策売り場展開と熱中症啓発活動

店舗での熱中症対策啓発イベントの開催 (2～3回程度)

○ 栄養をとりましょう

■ 朝食をしっかり食べましょう
朝は、寝ているときに汗をかいて体が脱水状態になっていることもあります。
1日の始まりの朝食を抜くと、体力低下にもつながるため、欠食はNG。

■ 熱中症予防に良い栄養を摂りましょう

ビタミンB1 疲労回復が期待
豚肉、豆腐、モロヘイヤ

ビタミンC 免疫力を高めたり、ストレスと戦う
赤パプリカ、ブロッコリー、じゃがいも

クエン酸 ミネラルの吸収を促す「キレート作用」
梅干し、お酢、レモン

熱中症になりやすい方

(3) 糖尿病や前糖能異常のある方
(4) 高齢者
(5) 熱帯に慣れない方
(6) 自律神経に作用する薬剤を内服している方
(7) 寝込んでいない方
(8) 利尿剤を服用中の方
(9) その他(薬)により



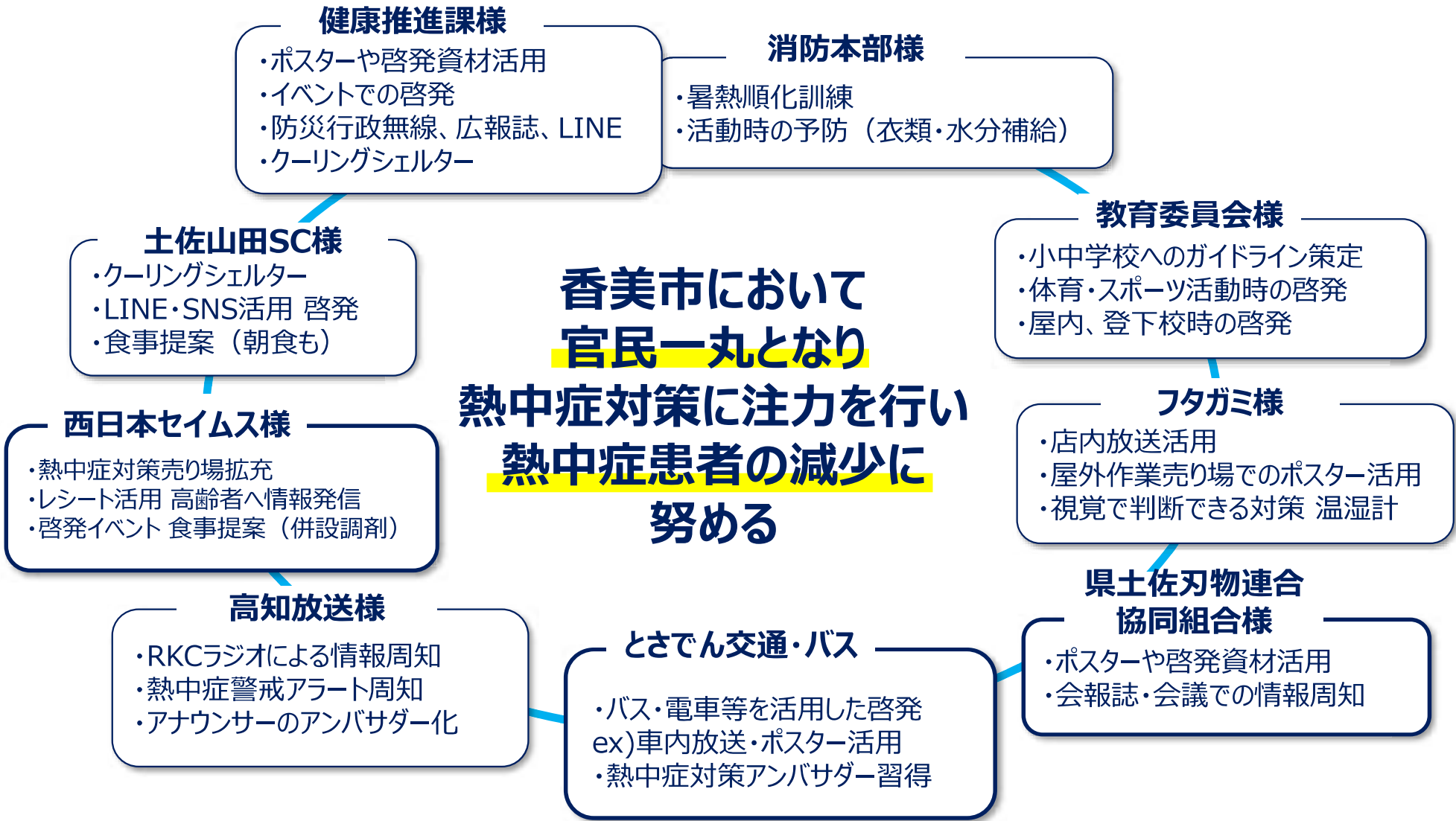
店舗にて熱中症対策をテーマとしたイベントの実施。
経口補水液の注意点や、管理栄養士からの熱中症予防レシピ、
薬剤師からの熱中症留意者(特定の疾患、服薬者の留意点)な
どを参加者の方に啓蒙。

※土佐山田百石店にて実施
1回30分を1日3回程度、6月末～7月末にかけて3回程度を
予定

香美市

各団体様取り組みまとめ

香美市健康会議 各参画団体取組事項



四電様 各種サービスの活用による熱中症対策

高齢者などを対象としたキャンペーン
「よんでん 夏の応援割」を実施

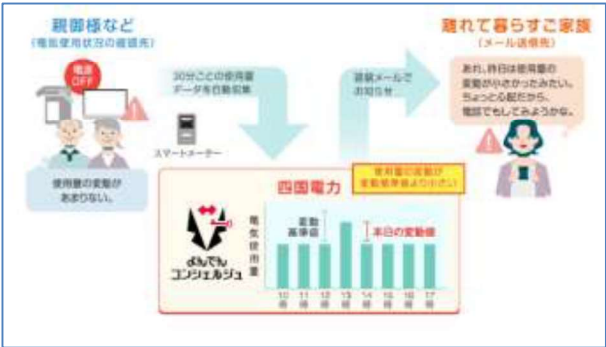


- ◆対象：18歳以下のお子さま または 65歳以上の高齢者がお住まいの世帯
- ◆期間：2025年6月の検針日から9月の検針日まで（電気料金の7・8・9月分）
- ◆目的：冷房需要が高まる夏場の電気料金の負担を軽減し、夏場の暮らしを応援する

⇒ 電気料金節約のための **無理な冷房控えによる熱中症を回避。**

2024年夏	申込件数(高齢者)
四国	38,820件
高知県(再掲)	5,665件

Webサービス「あんしんサポート」を活用した見守り方の紹介



- ◆「あんしんサポート」について
- 弊社の無料会員制Webサービス「よんでんコンシェルジュ」内でご利用可能なサービス。電気の一定の使用量変動が確認できなかった場合に、離れて過ごすご家族の方などに、翌朝メールでお知らせします。(判定時間帯や使用量変動幅はお客さまにて設定可能)

⇒ 離れて暮らす親御様(高齢者世帯)などの、毎日の電気の使用状況を把握出来るので、例えば、暑い日であったにもかかわらず日中に電力使用量が一定以上増加しなかった(エアコンを使用しなかったと思われる)場合など、**必要に応じた冷房使用についての注意喚起が可能。**

職場の熱中症対策、6月から義務化 罰則付きで

厚生労働省は、暑い環境での作業が見込まれる場合、熱中症のおそれがある人を早く見つけて適切な対策を取るよう、企業に対して罰則付きで義務づける方針を決定。6月から施行する。

職場における熱中症による 死亡災害の傾向

- ✓ 死亡災害が2年連続で30人を超え、令和6年もそれを上回るペースで発生
 - ✓ 熱中症は死亡災害に至る割合が他の災害の約5～6倍
 - ✓ 死亡者の約7割は屋外作業であるため、**気候変動の影響により更なる増加の懸念**
- 
- 現場において、死亡に至らせない（重篤化させない）ための適切な対策の実施が必要

事業者には義務付ける* 熱中症対策案のポイント

- ◆ 熱中症の自覚症状や疑いのある人がいた場合、報告するための連絡先や担当者を事業者ごとに定める
- ◆ 作業からの離脱、身体のコ却、必要に応じた医師の処置や診察など症状の悪化防止に必要な内容や手順を事業所ごとに定める
- ◆ 対策の内容を労働者に周知する

* 対象は「WBGT | 暑さ指数」が28以上か、気温が31度以上の環境で、連続1時間以上、または1日4時間以上の実施が見込まれる作業。
企業が対策を怠った場合は6か月以下の懲役または50万円以下の罰金が科される予定。

ソース：厚生労働省 労働制作審議会（安全衛生分科会）令和7年3月12日